

【平谷村】校務DX計画

2025年4月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	0%	100%	100%	100%
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	0%	0%	100%	100%	100%
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	0%	0%	100%	100%	100%
選択項目	3.学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信している学校の割合	0%	0%	100%	100%	100%
	9.1人1台端末を児童生徒に持ち帰らせ、家庭で利用できるようにしている学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%
	19.職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れている学校の割合	0%	0%	100%	100%	100%
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	<ul style="list-style-type: none"> 校務DXを推進していける知識をもった職員が少ないため、どこから進めたらよいか明確になっていない。 校務DXについて、個人データの保護や管理について保護者の理解を得ることが必要である。 自治体の財務規則上押印が必要であるため、押印が必要な書類が多く残っているが押印の廃止はできない。 				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	<ul style="list-style-type: none"> GIGAスクール運営支援センターや、専門家による支援や職員向けの研修会を開催する。 保護者や職員向けのデジタルリテラシーなどについて理解を深める取り組みを行う。 近隣自治体の成果の出た校務DXの取り組みについて積極的に情報収集をし、校務DX環境を整える研究を進める。 				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	<ul style="list-style-type: none"> Google Workspace for Education等の活用など、データのクラウド化を推進し、職員間の情報共有やペーパーレス化を促進し、業務の効率化を進める。 校務改善が図られるよう、情報収集し、改善に向けて検討する。 				